

東洋陶磁学会 第四十四回大会のお知らせ

初秋の候、会員の皆様には益々ご清祥の事と存じます。

この度、平成二十八年度の大会を左記のとおり有田で開催致します。奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

東洋陶磁学会

記

*日時 平成二十八年十月二十九日(土)・三十日(日)・

三十一日(月)・現地見学会(貸切バス)

*会場 佐賀県立九州陶磁文化館(西松浦郡有田町戸杓乙三二〇〇-一
<http://saga-museum.jp/ceramic/>)

*共催 佐賀県立九州陶磁文化館・有田町教育委員会・近世陶磁研究会

*後援 伊万里市教育委員会

*テーマ 「日本磁器の創始と発展―江戸前期を中心に―」

*趣旨 江戸時代初頭、朝鮮の技術者によって有田で始まった日本の磁器は中国・明清王朝交替に伴う内乱の時期に、中国磁器に代わって国内磁器市場を独占するばかりか、海外にも輸出する。さらに、十七世紀中葉に中国の技術が導入され、著しい技術革新を果たす。もともと重要な技術が色絵であり、一六四七年頃に出来上がり、十七世紀後半に柿右衛門様式などの色絵が完成する。このように、江戸前期に誕生から急激な発展を遂げた、肥前地方を中心とする日本の磁器についての諸問題を取り上げる。

*日程

十月二十九日(土) 十二時三十分より受付 午後一時開会

・東洋陶磁学会常任委員長挨拶

大橋 康二

・有田町教育委員会教育長挨拶

・佐賀県立九州陶磁文化館館長挨拶

・記念講演「日本磁器の創始と発展(概論)」

鈴田由紀夫

・研究発表

「肥前の磁器の始まりの実態(初期伊万里)」

村上伸之

「肥前磁器の流通について―十七世紀前半の

出土資料を中心に―」 渡辺芳郎・野上建紀・赤松和佳・

畑中英二・水本和美・滝川重徳・庄田知充・新宅輝久・

藤掛泰尚・河合修・小野田恵・佐藤雄生

・懇親会 午後六時～ 於・武雄市武雄温泉 京都屋

十月三十日(日) 午前九時四十五分より受付 十時より発表

・研究発表

「色絵磁器の始まりの実態(初期色絵)

大橋 康二

―山辺田遺跡調査成果を中心に―

「柿右衛門様式の実態」

家田 淳一

(昼食)

「柿右衛門様式色絵の消費地での出土状況」

堀内 秀樹

「鍋島焼の始まりから盛期に至る実態」

船井 向洋

「鍋島焼の消費地での出土状況(草創期～盛期鍋島)」

水本 和美

・見学：佐賀県立九州陶磁文化館「特別企画展・日本磁器誕生」

(随時見学可、無料)

十月三十一日(月) 見学会「遺跡と出土品」

9:00～11:00 山辺田遺跡(初期色絵) 出土品見学(九州陶磁

文化館研修室1、会員のみのみ) ↓ 11:10～12:00 山辺田遺跡及

窯跡見学(貸切バス) ↓ 12:30 伊万里市大川内山着(昼食：)

於伊万里・有田焼伝産産業会館) ↓ 13:30～15:20 大川内山

日峯社下窯跡(初期鍋島など出土品含む) 見学 ↓ 16:00

有田駅着・解散

*費用

・大会参加費(参加者全員)

二、〇〇〇円

・懇親会費(二十九日・申込者のみ)

五、五〇〇円

・昼食代(三十日・申込者のみ)

一、〇〇〇円

・バス見学会費(三十一日・申込者のみ・昼食含む)

三、〇〇〇円

*交通

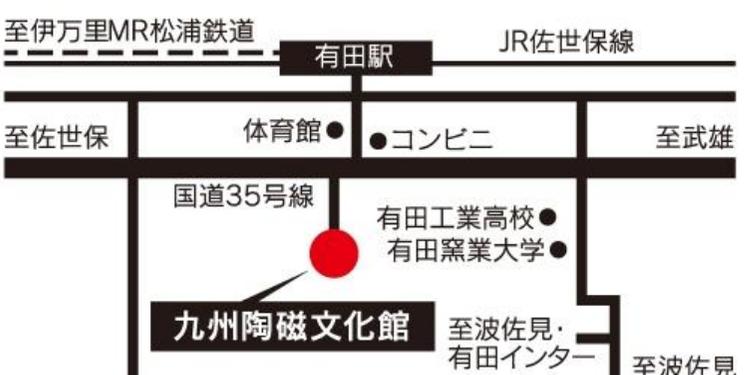
・JR佐世保線、MR(松浦鉄道)西九州線

有田駅下車 徒歩約十二分(駅正面の小高い丘の上です)

・お車でお越しの際は、第二駐車場をご利用ください。

西九州自動車道 波佐見・有田インターから車で約10分

JR博多駅からJR佐世保線有田駅までJR特急約80分



【注意】

・参加申込は**十月十日迄**に、振込用紙にてお願い致します。

・発表の演題および順序が変更される場合がございます。

・「発表要旨」を大会前にホームページに掲載いたします。

東洋陶磁学会

一〇二一〇〇七四 東京都千代田区九段南 一五十六

りそな九段ビル五階 KSフロア

電話・FAX 〇三-三三三三九-一二七七

<http://toyotoji.com/>